

# 建団連 新入社員研修セミナー開く

大阪府建団連(北浦年一会長)の「新入社員研修セミナー」が、左官基礎コースと施工管理基礎コースとして、それぞれ四日から六日までの三日間にわたり開催された。このセミナーは、建設業振興基金からの受託事業として、昨年からの建団連傘下の組合員を対象に実施しているもので、左官コースは尼崎市のポリテクセンター兵庫、施工管理コースは、大阪市中央区の建団連会館で行われた。

## 「左官基礎」と「施工管理基礎」 実技や現場見学など

このうち左官基礎コースには、大阪府左官工業組合の組合員から一三人が受講。開講式にあたり建団連を代表して副会長である左官組合の邑智保則理事長が挨拶。邑智副会長は、「皆さんは、所属先は違いますが同じ道を目指した者として、一人ではないということをお忘れずに、しっかりと学んでほしい」と受講者を激励した。

講習では、座学として社会人としての心構えと現場で働く上での基礎的な知識、材料から道具の名称と塗り方の違い、安全管理等について、実技講習では、鏝の持ち方から材料練りと壁塗体験まで行われ、最終日には

壁塗りの最終テストが実施され、最後に修了証が交付された。今回の左官基礎コース実施にあたっては、左官組合員とセンター職員が講師となり、指導にあたり、年齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部兵庫職業能力開発促進センターの協力を得て、左官組合と独立行政法人高



左官基礎コース

た。一方、施工管理基礎コースでは、今回が初めての開催。建団連各組合で今年度に入社した技能職を除いた社員三〇人が受講した。講習では、元近畿職業能力開発大学校教授の杉本誠一氏が講師となり、社会人としての心構えから建築現場の基本知識等について実践と講義が行われた。このうち現場の基本知識では、ゼネコン現場の



施工管理基礎コース

見学とサブコン社員の役割と業務について学んだ。現場見学では、朝礼や報告、指差し呼称等を模擬体験したほか、関連法規や必要となる資格、KYK活動の実践など安心な生活活動についての講義が実施された。建団連ではこれまで、入職希望者をはじめ、一・二級の技能資格取得希望者を対象に、技能者会と連携した実践訓練を行っていたが、昨年に振

専門工事業における新入社員教育については、業者単位では、現場に配属してOJT教育を実施する場合は始どだが、実際の現場では時間的な余裕がなく、体系的な指導を行うことが困難であったことから、技能を身に付ける前に離職する者も多かった。このため同事業では、組合企業の新入社員を一堂に集めて教育訓練を行うこととしたもの。